

IBM Marketing Operations

バージョン9 リリース0

2013 年 1 月 15 日

リリース・ノート

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、39 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Operations バージョン 9 リリース 0 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Marketing Operations
Version 9 Release 0
January 15, 2013
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.1

© Copyright IBM Corporation 2002, 2012.

目次

第 1 章 システム要件および互換性. 1	第 7 章 既知の制限 27
詳細情報. 1	
第 2 章 バージョン 9.0.0 の新機能および 変更点 5	第 8 章 IBM Marketing Operations Reports Package 31
第 3 章 IBM Marketing Operations- Campaign システムの新機能 11	第 9 章 IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package 35
第 4 章 修正された障害. 13	第 10 章 IBM 技術サポートへの連絡 . . 37
第 5 章 既知の問題 17	特記事項 39
第 6 章 統合された Marketing Operations-Campaign システムの既知の 問題 23	商標. 41
	プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項 41

第 1 章 システム要件および互換性

IBM® Marketing Operationsは、IBM EMM 製品スイートの一部として動作します。

- Marketing Operations バージョン 9.0.0 は IBM Marketing Platform 9.0.0 を必要とします。
- レポート作成に関しては、Marketing Operations 9.0.0 は、バージョン 9.0.0 の Marketing Operations および Marketing Operations/Campaign のレポート・パッケージを使用します。

8.x. または 7.5.x バージョンから Marketing Operations 9.0.0 へのアップグレードは、次の方法で行えます。

表 1. Marketing Operations 9.0.0 でサポートされるアップグレード・パス

ソース・バージョン	アップグレード・パス
8.x.x	バージョン 9.0.0 へのアップグレード。
7.5.x	Marketing Operations 8.5.0 にアップグレードしてから Marketing Operations 9.0.0 にアップグレードする必要があります。

詳しくは、「*IBM Marketing Operations インストール・ガイド*」を参照してください。バージョン 8.5.0 へのアップグレードについては、「*IBM Marketing Operations 8.5 インストール・ガイド*」を参照してください。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性がある IBM EMM 製品バージョンのリスト、およびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境 および最小システム要件」の資料を参照してください。この資料は、IBM Support Portal Web サイト (<http://support.ibm.com>) の「詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)」の下にあります。

注: Support Portal から IBM EMM 資料にアクセスするには、IBM アカウントでログインする必要があります。このアカウントは、IBM 顧客番号とリンクされている必要があります。アカウントを IBM 顧客番号と関連付ける方法については、Support Portal の「サポート・リソース」 > 「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

この資料には、IBM EMM にログインしているときに、「ヘルプ」 > 「製品資料」を選択することによってもアクセスできます。

詳細情報

組織内のさまざまな人間がそれぞれ異なるタスクを遂行するために IBM Marketing Operations を使用します。Marketing Operations に関する情報は、一連のガイドから入手できます。各ガイドは、特定の目的とスキルのセットを持つチーム・メンバーが使用するために用意されています。

表2. Marketing Operations ドキュメンテーション・セットのガイド

行うこと	参照先	対象読者
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの計画および管理 ワークフロー・タスク、マイルストーン、および担当者の設定 プロジェクト費用のトラッキング コンテンツのレビューと承認の取得 レポートの作成 	<p><i>IBM Marketing Operations ユーザー・ガイド</i></p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・マネージャー クリエイティブ・デザイナー ダイレクト・メール・マーケティング・マネージャー
<ul style="list-style-type: none"> テンプレート、フォーム、属性、およびメトリックの設計 ユーザー・インターフェースのカスタマイズ ユーザー・アクセス・レベルおよびセキュリティーの定義 オプション機能の実装 Marketing Operations の構成および調整 	<p><i>IBM Marketing Operations 管理者ガイド</i></p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・マネージャー IT 管理者 実装コンサルタント
<ul style="list-style-type: none"> マーケティング・キャンペーンの作成 オファーの計画 Marketing Operations と Campaign の統合の実装 Marketing Operations と IBM Digital Recommendations の統合の実装 	<p><i>IBM Marketing Operations および IBM Campaign統合ガイド</i></p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・マネージャー マーケティング実行担当者 ダイレクト・マーケティング・マネージャー
<ul style="list-style-type: none"> システムの新機能の学習 既知の問題と回避策の調査 	<p><i>IBM Marketing Operations</i> リリース・ノート</p>	<p>Marketing Operations を使用する人すべて</p>
<ul style="list-style-type: none"> Marketing Operations のインストール Marketing Operations の構成 Marketing Operations の新規バージョンへのアップグレード 	<p><i>IBM Marketing Operations</i> インストール・ガイド</p>	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア実装コンサルタント IT 管理者 データベース管理者
<p>Marketing Operations を他のアプリケーションに統合するためのカスタム手順の作成</p>	<p><i>IBM Marketing Operations</i> 統合モジュール、および API JavaDoc (Marketing Operations の「ヘルプ」>「製品資料」をクリックして IBM <version>PublicAPI.zip ファイルをダウンロードすることによって入手できる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> IT 管理者 データベース管理者 実装コンサルタント
<p>Marketing Operations データベース構造の学習</p>	<p><i>IBM Marketing Operations</i> システム・スキーマ</p>	<p>データベース管理者</p>

表2. Marketing Operations ドキュメンテーション・セットのガイド (続き)

行うこと	参照先	対象読者
作業中に情報が必要になった場合	<ul style="list-style-type: none"> • ヘルプを入手して検索するか、「ユーザーズ・ガイド」、「管理者ガイド」、または「インストール・ガイド」を参照する: 「ヘルプ」 > 「このページのヘルプ」をクリックする • すべての Marketing Operations ガイドにアクセスする: 「ヘルプ」 > 「製品資料」をクリックする • すべての IBM Enterprise Marketing Management (EMM) 製品ガイドにアクセスする: 「ヘルプ」 > 「すべての IBM EMM Suite 資料」をクリックする 	Marketing Operations を使用する人すべて

第 2 章 バージョン 9.0.0 の新機能および変更点

IBM Marketing Operations 9.0.0 では、プロジェクトの正常性を計算してモニターする機能、承認が拒否される理由を定義してトラッキングする機能、および頻繁に使用される機能に素早くアクセスする機能が新たに導入されています。9.0.0 リリースでは、Marketing Operations ユーザー・インターフェースに対して変更が加えられています。また、9.0.0 リリースでは、8.6 リリースで導入された不在中機能およびデータ・マイグレーション機能も更新されています。

プロジェクト全体の正常性のモニター

プロジェクトのライフサイクル・ステージを示すステータスに加えて、IBM Marketing Operations はプロジェクトの正常性ステータスを計算するようになりました。プロジェクトの正常性ステータスの計算結果は、以下のいずれかになります。

- 正常
- 警告
- 重大
- 不明

プロジェクト全体の正常性を客観的に評価するために、Marketing Operations はプロジェクト・データを、重要業績評価指標 (KPI) のしきい値と比較します。例えば、タスク期限超過が <1% で、マイルストーン期限超過が 0% のプロジェクトは「正常」と評価されます。しかし、タスク期限超過が 5% を超えるか、マイルストーン期限超過が 3% を超えると、プロジェクトは「重大」ステータスになります。

システム管理者は、プロジェクトの正常性ステータスの計算のルールを定義し、それを特定のプロジェクト・テンプレートと関連付けることで、そのテンプレートを使用するプロジェクトと関連付けます。また、管理者は、毎日、1 日の中で定期的に自動計算が実行されるように構成します。所有するプロジェクトの場合、ユーザーは、正常性ステータスの計算を 1 日の中で必要に応じて開始することができます。

プロジェクトの正常性ステータスをレビューするために、プロジェクト所有者および参加者は以下を行うことができます。

- 日々の自動計算の結果をリストする日次 E メール通知を購読します。
- 「操作」>「プロジェクト」をクリックして、プロジェクト・リストを表示します。新規「プロジェクト正常性」列に、直近の自動定期更新で計算されたステータスが表示されます。
- プロジェクトに関する詳細を表示し、その新規「正常性ステータス」タブをクリックします。
- 新規「正常性ステータス」ポートレットをダッシュボードに追加します。

簡単に分析を行うために、プロジェクトの正常性ステータス・レポートを使用して、1 カ月の中でさまざまなプロジェクトについて計算されるステータスや長期に渡る傾向を比較することができます。

プロジェクトの正常性ルールの実装について詳しくは、「*IBM Marketing Operations 管理者ガイド*」を参照してください。異なるさまざまな方法を使用してプロジェクトの正常性をモニターする方法について詳しくは、「*IBM Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。

承認を拒否するときに理由を要求する

承認の結果として、ユーザーは以下のいずれかのオプションを選択します。

- 承認済み
- 変更を行うことで承認されました
- 拒否済み

承認のために受け取るアイテムを拒否するときに、「拒否理由」の選択がユーザーに要求されるようになりました。組織は新しい「承認拒否理由」定義リストに独自の理由を定義します。この機能は、独立した承認と承認タスクで別々に有効にすることができます。管理者は新しい拒否理由分析レポートから、長期に渡って、特定のプロジェクトについて、または独立した承認について、ユーザーが選択する理由のメトリックを得ることができます。

承認プロセスの構成について詳しくは、「*IBM Marketing Operations 管理者ガイド*」を参照してください。承認での作業について詳しくは、「*IBM Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。

ダッシュボードへのクイック・リンクの追加

新しいタイプの Marketing Operations ポートレットであるクイック・リンクが 9.0 リリースで使用できるようになりました。「クイック・リンク」ポートレットをダッシュボードに追加すると、「新規プロジェクトの作成」や「請求書の追加」など、頻繁に使用するオプションに各ポートレットからシングルクリックでアクセスできるようになります。

この新規ポートレットについて詳しくは、「*IBM Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。

ワークフローを置き換える新規プロジェクトのオプション

プロジェクト・テンプレートに加えて、Marketing Operations インストール済み環境に、独立したワークフロー・テンプレート・コンポーネントのセットを保持することができます。プロジェクトがまだ「開始前」ステータスにある間、ユーザーは、テンプレートによって提供されたワークフローが適切かどうか、また別のワークフローの方がより適切な開始点を提供しているかどうかを評価することができます。プロジェクトの「ワークフロー」タブを編集モードにして、新規「ツール」>「ワークフローのインポートおよび保存」オプションを選択することにより、ユーザーはスプレッドシートの行と値すべてを、ワークフロー・テンプレートのデータで置き換えることができるようになりました。プロジェクトでの作業が開始した後、このオプションは使用できなくなります。

ユーザー・インターフェース表示の機能強化

9.0 リリースでは、Marketing Operations によるいくつかのオプションおよび情報の表示方法が機能強化されています。このリリースの機能強化のほとんどはプロジェ

クトの「ワークフロー」タブに影響するものですが、プロジェクト、要求、およびその他のオブジェクト・タイプに影響する更新もあります。新規ユーザー・インターフェース・コントロールの使用方法については、「*IBM Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。

ツールバーのアイコンとオプションの更新

プロジェクトの「ワークフロー」タブがスプレッドシート・ビュー・モードまたは編集モードにあるときに表示されるツールバーのレイアウトが改訂されました。また、新規アイコンも組み込まれています。新しいデザインでは、似たアクションが統合されています。例えば、編集モードのツールバーには、3つの異なるアイコンの代わりに、1つの「**行の追加**」アイコンが組み込まれています。ユーザーが「**行の追加**」()をクリックすると、3つの行タイプ（「タスク」、「承認」、または「ステージ」）が含まれるリストが表示されます。新しいデザインでは、各アイコンの下に識別用のテキスト・ラベルも用意されています。

ステージとタスクの区別

ワークフロー・スプレッドシートでステージとタスクを区別するために、ステージの行が陰影付きの背景で表示されるようになりました。

タスク・ステータス・アイコンの更新

ワークフロー・スプレッドシートの各タスクのステータスを識別するために、以下の新規アイコンが使用されるようになりました。

- アクティブ 
- スキップ 
- 終了 

プロジェクトおよび要求用の新しい「ステータスの変更」コントロール

ユーザーがプロジェクトまたは要求を選択したときに、ステータスの変更を行うためのユーザー・インターフェース・コントロールがドロップダウン・リストになりました。この新しい「**ステータスの変更**」コントロールは、タブの上の、ページの右側に表示されます。リスト・ページで、またその他のすべてのオブジェクト・タ

イプについては引き続き、「**ステータス**」アイコン () をクリックしてステータスの変更を行います。

すべてのオブジェクト・タイプの新規ステータス・アイコン

オブジェクト・タイプのインスタンスのステータスをよりはっきりするように、色分けされたアイコンの新しいセットがステータスの横に表示されるようになりました。以下に例を示します。

● 進行中

データ・マイグレーション機能の強化

管理者が「設定」>「Marketing Operations 設定」>「データ・マイグレーション」を選択するときにリストされる各オブジェクト・タイプが、ユーザー・インターフェースの別のページへのハイパーリンクになりました。関連したメタデータをエクスポートまたはインポートする前に、管理者はそのリンクを使用して、既存のマーケティング・オブジェクト・タイプやテンプレート、チームなどに関する情報にアクセスすることができます。

加えて、Marketing Operations システムで定義されるプロジェクトの正常性ルールのメタデータをアーカイブ・ファイルにエクスポートし、同じバージョンの Marketing Operations を実行している別のシステムにインポートできるようになりました。

メタデータのエクスポートおよびインポートについて詳しくは、「IBM Marketing Operations 管理者ガイド」を参照してください。

不在中機能の強化

プロジェクトおよび要求の所有者は、不在であるチーム・メンバーまたは要求受信者を「人物」タブでトラッキングできるようになりました。選択された代理人および開始日も表示されます。管理者は新しい「不在中のユーザーおよび委任サマリ」を生成して、不在中パラメーターが設定されているすべてのユーザーについてこの情報をトラッキングすることができます。

プロジェクトおよび「人物」タブについて詳しくは、「IBM Marketing Operations ユーザー・ガイド」を参照してください。管理レポートの生成について詳しくは、「IBM Marketing Operations 管理者ガイド」を参照してください。

再設計されたプロパティ・ファイル

9.0 リリースでは、異なるタイプのデータに関して、以前データを保管していた個々の XML ファイルが、3 つのロケール固有のプロパティ・ファイルによって置き換えられています。

表 3. 新しいプロパティ・ファイルで保管されるデータ

データのタイプ	プロパティ・ファイル
標準マーケティング・オブジェクト・タイプ (計画、プログラム、プロジェクトなど)	<MarketingOperations_Home>/messages/com/ibm/umo/ext/UMOConfigurationMessages_<locale>.properties
カスタム・マーケティング・オブジェクト・タイプ	<MarketingOperations_Home>/messages/com/ibm/umo/ext/UMOMktObjectConfigurationMessages_<locale>.properties
システム・エラー・メッセージおよび警告メッセージ	<MarketingOperations_Home>/messages/com/ibm/umo/ext/UMOMessages_<locale>.properties

UMOConfigurationMessages_<locale>.properties ファイルと

UMOMktObjectConfigurationMessages_<locale>.properties ファイルには、システムの各マーケティング・オブジェクト・タイプの ui パラメーターと list パラメーターが含まれています。これらのパラメーターは、ユーザー・インターフェースでマーケティング・オブジェクト・タイプを識別するラベルとストリングを定義し

ます。組織に合わせてこのラベルとストリングをカスタマイズするには、管理者はデフォルト・ロケールのファイルを編集します。複数ロケールをサポートしている組織の場合、管理者はサポートされているロケールごとにファイルを編集し、ローカライズされた翻訳を用意します。これらの新しいファイルは、`<object>sui.xml` ファイルと `<object>list.xml` ファイルに取って代わります。

ローカライズされた `UMOMessages_<locale>.properties` ファイルには、システム・メッセージのテキストが含まれます。これらのファイルを変更することは、勧められていません。これらのファイルは `<MarketingOperations_Home>/messages/ <name>.xml` ファイルに取って代わります。

IBM Marketing Operations ユーザー・インターフェースのカスタマイズについて詳しくは、「*IBM Marketing Operations 管理者ガイド*」を参照してください。

フォルダーに対する API 操作のサポート

IBM Marketing Operations API に、フォルダーに対する操作のサポートが組み込まれました。

- `IPlanAPI` インターフェースを使用して、フォルダーを作成、検索、およびリストできるようにになりました。
- 新しい `FolderHandle` クラスを使用して、フォルダー・オブジェクトへの永続的な参照を行うことができます。

Marketing Operations API について詳しくは、「*IBM Marketing Operations 統合モジュール*」を参照してください。

第 3 章 IBM Marketing Operations- Campaign システムの新機能

IBM Campaign と統合し、オファーの機能を有効にする IBM Marketing Operations システムの 9.0 リリースには、IBM Digital Recommendations との統合、「クリエイティブ URL」属性タイプに対する機能強化、および API に対する機能強化が含まれています。

IBM Digital Recommendations との統合

この機能は、IBM Digital Recommendations (以前は IBM Coremetrics® Intelligent Offer と呼ばれていた) も使用している組織で利用できます。

管理者は、ユーザーが値を手動で入力する代わりに、IBM Digital Recommendations システムから提供されるカテゴリ ID と名前を選択できるよう、オファー・テンプレートを構成できるようになりました。オファー・テンプレートを構成するために、管理者は新規 Coremetrics® クライアントの定義済みリストに、IBM Digital Recommendations の実装からのクライアント ID および名前を設定します。管理者は、IBM Digital Recommendations インスタンスの URL と、1 つ以上の有効なクライアント ID を提供します。

IBM Marketing Operations と IBM Digital Recommendations の統合について詳しくは、「*IBM Marketing Operations* および *Campaign 統合ガイド*」を参照してください。

クリエイティブ URL の属性タイプの機能強化

「クリエイティブ URL」は、デジタル資産 (製品ロゴ、ブランド・イメージ、市場調査文書、文書テンプレートなど) へのリンクです。「クリエイティブ URL」オファー属性を持つカスタム・フォームがオファー・テンプレートに含まれている場合、ユーザーは、Marketing Operations 資産ライブラリーからデジタル資産を選択し、各オファーに組み込みます。リリース 9.0 では、Marketing Operations が標準「クリエイティブ URL」属性タイプを提供するようになりました。新しい「クリエイティブ URL」属性を作成する際、この新規属性タイプは、ユーザー・インターフェース・コントロールを提供し、ユーザーが資産を選択して、その資産へのハイパーリンクを表示できるようにします。

新しい「クリエイティブ URL」属性タイプは、標準「クリエイティブ URL」属性に関してのみ使用できます。

Campaign に公開するときに、「クリエイティブ URL」オファー属性の属性タイプは、「テキスト・フィールド - スtring」に変更されます。

「クリエイティブ URL」属性タイプの使用について詳しくは、「*IBM Marketing Operations* および *Campaign 統合ガイド*」を参照してください。

オファーに対する API 操作のサポート

IBM Marketing Operations API に、オファーに対する操作のサポートが組み込まれました。

- IPlanAPI インターフェースを使用して、オファーを作成、検出、および変更できるようになりました。
- 新規 OfferStateEnum 列挙データ型は、有効なオファー状態を定義します。

Marketing Operations API について詳しくは、「*IBM Marketing Operations 統合モジュール*」を参照してください。

第 4 章 修正された障害

IBM Marketing Operationsバージョン 9.0.0 では、以下の障害が修正されています。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.0.0 で修正された障害

問題 ID	説明
INC72647、ENH11460	最大長の制限が、ユーザーがプロジェクトを作成および編集するときに使用可能な「プロジェクトの説明」フィールドに適用や、ユーザーがプロジェクト要求を作成および編集するときに使用可能な「コメント」フィールドに適用されなくなりました。
ENH11677	デフォルトで、ワークフロー承認アラートにプロジェクト名とコードへのリンクが含まれるようになりました。独立した承認には、アラート・メッセージ内に「リンクされているプロジェクト: なし」が含まれます。
INC50183、INC62678、DEF061415	ユーザーを Marketing Platform と同期させた後に発生することがあった、Marketing Operations ユーザー・グループとサブグループの重複が修正されました。ユーザー・グループ階層が正しく表示されるようになりました。 さらに、Marketing Operations ユーザー・インターフェースの選択リスト・コントロールに、ユーザー・グループがアルファベット順で表示されるようになりました。
INC55525	パスワードで保護された PDF ファイルや任意のセキュリティー設定のある PDF が添付された承認を、終了できるようになりました。以前は、保護された PDF 添付ファイルのある承認のステータスは、変更できませんでした。
INC55906、INC59729	ワークフロー・タスクがスキップされたとき、次のタスクの所有者に対して、タスクを開始できることを示すアラートが出されるようになりました。以前は、次のタスクの所有者に対してアラートが出されたのは、タスクが終了したときのみでした。
PMR45166、INC70242	資産について、「キーワード」フィールドと「使い方」フィールドの最大長が 1024 文字に拡大しました。
INC66360、DEF059946	「単一選択オブジェクト参照」属性タイプのフォーム属性に対して「自動作成」オプションが選択されるとき、「テンプレート ID」リストには、フォルダー内のテンプレートとルート・レベルのテンプレートとが含まれるようになりました。以前は、選択できたのはルート・レベルのテンプレートだけでした。
INC63115、DEF057902	ワークフロー・タスク URL 添付ファイルは、「ワークフロー」タブまたは「添付ファイル」タブのどちらからもアクセスできるようになりました。以前は、「添付ファイル」タブの URL が不正確で、結果として 404 エラーが出ていました。
INC55417、DEF055123	要求が承認されたとき、すべてのカスタム属性に対して指定された値がプロジェクトに正しく転送されるようになりました。以前は、プロジェクト・テンプレートに同じ属性が複数のフォームで含まれている場合、要求がプロジェクトになるときに、要求に対して入力された値はデフォルト値によって上書きされました。
INC69970、DEF060549	Marketing Operations API の listGridRow() メソッドは、拡張検索フレームワークによって、指定の検索条件をデータベース照会にマッピングするようになりました。以前は、グリッド行の検索にメモリー内のフィルタリングが使用されていたため、パフォーマンスの問題が生じることがありました。
INC49458、DEF056812	プロジェクトの「分析」タブで、E メール添付ファイルとして送信されるすべての添付ファイルが報告されるようになりました。以前は、「分析」タブで、プロジェクト・タスクへの添付ファイルではなくプロジェクトへの添付ファイルの E メール履歴が報告されていました。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.0.0 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
INC62484、DEF057825	ユーザーがカレンダー設定を構成してカラー・コーディングを有効にすると、選択可能な属性が、<attribute name> (<form_name>, <template_ID>) の形式でフォームとテンプレートも示すようになりました。以前は、複数のフォームやテンプレート上にある共有属性がこのリストに複数回含まれていても、表示されるのは属性名だけでした。
INC37409、DEF041215	プロジェクトのワークフロー・タスクがカレンダー・ビューに表示されるとき、表示されるように指定されたタスクだけが含まれます。以前は、API 対応ワークフロー非表示フィーチャーを使用するテンプレートから作成されたプロジェクトであっても、すべてのタスクがカレンダーに含まれていました。
INC70706、DEF060903	入力した「予測/実際の開始」日付から、ワークフロー・タスクの「予測/実際の終了」日付を決定する計算に、夏時間調整が正しく適用されるようになりました。以前は、「予測/実際の開始」日付に夏時間調整が行われる日付を指定すると、「予測/実際の終了」日付は正しい日付よりも一日遅れで計算されました。
INC50638、DEF052708	Macintosh Safari ブラウザーから Marketing Operations にアクセスしたとき、スクロールの必要がなくてもウィンドウの右側のアイコンが表示されます。以前は、Marketing Operations ページの幅がブラウザー・ウィンドウの幅と同じになるようにサイズ調整されませんでした。
ENH11698	プロジェクトのステータスが「完了」や「キャンセル済み」に変更されたとき、新しいオプション「完了/キャンセルされていないプロジェクトにリンクされたすべてのタスク/承認のキャンセル (Cancel all task/approvals linked to the project which are not completed/cancelled)」が表示されます。これを選択すると、「保留中」や「開始前」タスクのすべて、およびプロジェクトの「アクティブ」、「進行中」、「保留」承認のすべてが、「完了」または「キャンセル済み」になります。
ENH06030、ENH06031	タスク所有者は、「完了」や「キャンセル済み」ステータスのプロジェクト内のワークフロー・タスクを編集できなくなりました。さらに、タスク所有者は、「キャンセル済み」プロジェクトの所有者タスク・リストにあるタスクを再割り当てできません。
DEF063732、ENH07609	各オブジェクト・タイプの「添付ファイル」タブにリストされた添付ファイルは、追加された日付の降順でソートされるようになりました。
ENH11438	あるタスクの従属関係にあるものすべてが「終了」または「スキップ」の状態にあるとき、そのタスクは「開始準備完了」になっています。ユーザーは、開始準備が完了したタスクの通知に配信登録できるようになりました。以前は、割り当て時に開始準備ができていたタスクは、通知を生成しませんでした。
INC58219、DEF056149	「単一選択」属性タイプのカスタム・フォーム属性に入力された値は、アルファベットの昇順でソートされるようになりました。
INC58216、DEF056991	2 人のユーザーがプロジェクトのステータスを同時に変更するとき、システムは編集検査を行って、いずれかのユーザーにエラー・メッセージを表示するようになりました。
INC51297、ENH09685、DEF060056	システムは、Adobe マークアップを付けて入力されるコメントを、一貫性を持ってレンダリングするようになりました。以前は、承認の完了前に入力されたコメントが、承認の完了後に入力されたコメントとは異なって表示されていました。
INC70718、DEF060824	Tivoli® Access Manager によって構成される Marketing Operations システムでは、カレンダー・ビューに承認が正しく表示されるようになりました。
INC72179、DEF061057	作成したユーザーと、その後に変更したユーザーとが異なる資産は、作成者の名前と変更者の名前の両方を正しく表示するようになりました。
INC72033、DEF061172	1 つの要求に 2 つの受信者があり、どちらもチームであるとき、両方のチームのメンバーが通知を受けるようになりました。以前は、最初のチームのメンバーだけが要求通知を受けていました。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.0.0 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
DEF062153	プロジェクト・テンプレートで、「要求」タブ上に作成されるルールにアポストロフィを含めることができるようになりました。以前は、ルールにアポストロフィが含まれていると、正常に表示されませんでした。
DEF062303、 DEF062319	API を使用して、「ターゲット開始日」の日付を指定することなくワークフロー・タスクの「ターゲット終了日」の日付に値を設定するとき、日付の自動再計算が正しく行われるようになりました。 さらに、「ターゲット終了日」の日付が「ターゲット開始日」の日付だけに基づいて正しく計算されるようになりました。以前は、「ターゲット開始日」の日付に値を設定し、日付計算を開始するのに API を使用すると、「ターゲット終了日」の日付が間違っで計算されていました。
DEF062443	「単一選択」属性タイプまたは「「はい」または「いいえ」」属性タイプの属性を含むフォームを、エクスポートしてから正常に再インポートできるようになりました。以前は、これらの属性を持つフォームは再インポートできませんでした。
DEF063032	オファー・テンプレートによって使用中のフォームが編集されると、フランス語ロケールで表示されるエラー・メッセージはフランス語になります。以前は、そのエラー・メッセージがイタリア語でした。
DEF063582	Marketing Operations と Campaign を統合するシステムで、キャンペーンが定義された条件を満たさないときに、Marketing Operations はエラー・メッセージを表示するようになりました。以前は、トリガーがキャンペーンの作成を防止しなかったため、エラー・メッセージは表示されませんでした。
DEF063615	プロジェクトの「人物」タブに、API によって値が設定されたとき、メンバーと役割が正しく表示されるようになりました。以前は、メンバーとレビュー担当者の値が IPlanAPI.setMembersByRole と IPlanAPI.setReviewersByRole API メソッドによって設定されたとき、過剰な行数の「未割り当て」メンバーが「人物」タブに表示されました。
5762	プロジェクトの「人物」タブで、グループはすべてのユーザー用にソートされるようになりました。以前は、「ユーザー可視性」セキュリティー・オプションによって制限されたユーザーの場合、グループが表示内でソートされませんでした。

第 5 章 既知の問題

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の問題が示されています。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
「前のページに戻る」をクリックするとエラーになる	1054	セキュリティ権限を持たないユーザーがダッシュボードの「前のページに戻る」をクリックすると、エラーになります。
請求書を「クイック・リンク」から追加できる	1082	「クイック・リンク」ポータルに「請求書の追加」リンクが含まれていることがあります。このリンクは、財務管理モジュールにアクセスする権限を持たないユーザーに表示され、そのユーザーが使用できてしまいます。
プロジェクトの正常性ステータス・レポートの表示がブランクになる	2500, 9071	多数のプロジェクト (>750) でプロジェクト正常性 (月次) レポートまたはプロジェクト正常性 (トレンド) レポートが要求されると、エラー・メッセージの代わりにブランクのレポート・ページが表示されることがあります。ユーザーがプロジェクト正常性 (トレンド) レポートをキャンセルするときにも、ブランク・ページが表示されることがあります。
正常性ルールプロジェクト・テンプレートを選択するためのダイアログがローカライズされない	9314	スペイン語のロケールを設定するユーザーに対して、正常性ルールプロジェクト・テンプレートを選択するためのダイアログに、デフォルトのルールが英語で表示されます。
プロジェクト正常性レポートが DB2 [®] を要求する	5317	OLE DB を使って Cognos [®] データ・ソースを作成した環境でプロジェクト正常性 (月次) レポートおよびプロジェクト正常性 (トレンド) レポートを実行すると、例外エラーになります。 回避策: データ・ソースを変更し、Microsoft Native Client オプションを使用して SQL Server で再作成してください。
拒否理由で水平スクロール・バーが表示されない	1011	管理者が承認の拒否理由をテンプレートにマップする際、「拒否理由」リスト・ボックスに値全体が表示されません。
「承認分析」タブに表示される履歴が正しくない	1095	拒否される独立した承認のレスポンス履歴が「分析」タブで正しく表示されません。ステータスの変更が正しく順序付けされず、「変更されたステータス」メッセージが「拒否済み」ではなく「拒否待機中 (Waiting to Denied)」として表示されます。
「不在中のユーザーおよび委任サマリー」のドロップダウン・リストが不完全	1030	「不在中のユーザーおよび委任サマリー」ページの「プロジェクト/要求」および「承認」のドロップダウン・リスト・コントロールで、選択可能な値が一部表示されません。この問題は、複数のプロジェクト、要求、または承認で名前が同じになっているときに発生します。直近で追加されたアイテムだけがリストに表示されます。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
ワークフロー・テンプレートがインポートされた後、ユーザーが承認者を追加できない	1818	<p>この問題は、承認の「プロジェクト/承認の所有者は、承認者を追加または削除、あるいはその両方を実行できます (Project/Approval Owner can add and/or delete approvers)」オプションがクリアされており、1つの Marketing Operations システムから別のシステムにインポートされるワークフロー・テンプレートに当てはまります。</p> <p>そのようなテンプレートがインポートされる際、システム定義の承認者設定はソース・システムからインポートされません。「プロジェクト/承認の所有者は、承認者を追加または削除、あるいはその両方を実行できます (Project/Approval Owner can add and/or delete approvers)」オプションがクリアされているため、ユーザーはそれらの承認の承認者を追加または削除できません。</p> <p>この問題を回避するには、インポートするワークフロー・テンプレートの「プロジェクト/承認の所有者は、承認者を追加または削除、あるいはその両方を実行できます (Project/Approval Owner can add and/or delete approvers)」オプションが選択されていることを確認して、必要なユーザーを追加してください。</p>
プロジェクトへのワークフロー・テンプレートのインポートで値が検証されない	6381	ワークフロー・テンプレートがプロジェクト・テンプレートまたはインスタンスにインポートされる際に、その値がシステムで検証されません。
プロジェクト正常性レポートで「XML 形式で表示 (View in XML Format)」が機能しない	5323	ユーザーがプロジェクト正常性 (月次) レポートおよびプロジェクト正常性 (トレンド) レポートに「XML 形式で表示 (View in XML Format)」オプションを選択すると、エラーが発生します。
テンプレートを移動するとエラーが発生する	1923	異なるフォルダーの間でテンプレートを繰り返し移動するとエラーが発生します。
「カレンダー」が呼び出されるとエラーが発生する	1209	ユーザーが「アクティブなプロジェクトおよび要求」のリストを表示してからカレンダーを表示しようとする、エラーが発生することがあります。
「ワークフロー・テンプレートのインポート」ダイアログの日付がローカライズされない	6182	ユーザーがワークフロー・テンプレートをプロジェクトまたはプロジェクト・テンプレートにインポートしようとする、ワークフロー・テンプレートのリストが表示されます。テンプレートに表示される作成日が、ユーザー・ロケールではなく、システム・ロケールの形式になっています。
プロジェクト・ステータスが 2 度変更されると、ダイアログに空白のページが表示される	1031	ユーザーがプロジェクトのステータスを変更すると、システムはプロセスを開始します。同じまたは別のユーザーがプロジェクト・ステータスの変更を即時に再試行すると、ダイアログが正しく最新表示されず、空白のページが表示されます。
pt_BR ロケールでのインストールでエラーが発生する	9311	Marketing Operations のインストールの際に pt_BR ロケールを選択すると、エラーが発生します。
アイコンを使って承認を閉じるとロックが解放されない	6058	ユーザーがプロジェクトの「ワークフロー」タブでスプレッドシート・ビュー・モードにあるときに承認タスクを開くと、承認がシステムでロックされます。ユーザーがダイアログを閉じるためのアイコン (X) をクリックして承認を閉じると、ロックがかかったままになります。回避策として、ユーザーは「キャンセル」をクリックしてこのダイアログを閉じてください。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
承認を拒否するための理由を要求する機能を無効にすることができない	該当なし	ユーザーが承認を拒否するときに理由を要求するように Marketing Operations を構成すると、ユーザーは拒否理由の値を選択しなければなりません。ユーザーがこの機能の使用を開始した後、この機能を無効にするようにシステムを再構成できません。
最新表示を行っても「正常性ポートレット (My Health Portlet)」に最新データが表示されない	3545, 5503	ユーザーが「最新表示」をクリックしても、「正常性ポートレット (My Health Portlet)」の「完了率 (Percentage Completed)」値が更新されません。加えて、ユーザーがこのポートレットの「最新表示」をクリックするとエラーが発生することがあります。
プロジェクト名がレポートに表示されない	5489	プロジェクト正常性 (月次) レポートには、X 軸のラベルとしてプロジェクト名の最初の 48 文字のみが表示されます。しかし、48 文字より長いマルチバイト文字セットのプロジェクト名が表示されません。
レポートのタイトルがローカライズされない	6236	プロジェクト正常性 (月次) レポート (ドリルダウン) に、正しくローカライズされていないタイトルが含まれています。英語の「Health Report」という語が含まれています。
テンプレート名がフィルターでローカライズされない	9327	プロジェクト正常性 (月次) レポートに、「プロジェクト・テンプレート」のドロップダウン・リストが含まれています。このリストのプロジェクト・テンプレート名がローカライズされず、英語で表示されます。
9.0 へのアップグレードの際の非致命的エラーを無視できる	13681	手動データベース・セットアップまたは自動データベース・セットアップのいずれかを使った IBM Marketing Operations バージョン 8.x から 9.0.0 へのアップグレードの際に、非致命的エラーが報告されることがあります。このエラーは、config_migration ユーティリティが新規 Marketing Operations 構成プロパティを Marketing Platform にインポートするときに生じる可能性があります。このエラーは機能に影響を与えません。無視することができます。
ワークフロー・アイコンの表示	7367, 7572, 9200, 9235	サポートされているすべての言語のテキスト・ラベルに対して、プロジェクトの「ワークフロー」タブのアイコンのラベルに割り振られるスペースが十分ではありません。この問題のためにラベルが分かりにくい場合、その回避策として、アイコンの上にカーソルを置き、ツールチップを表示してください。 加えて、単一の水平ツールバーではなく、プロジェクトの「ワークフロー」タブの上部の 2 行にアイコンが表示されます。
DB2 v10.1 で、NOT EXISTS によって重複した結果が生成される	該当なし	DB2 v10.1 を使用するシステムでは、NOT EXISTS 演算子によって重複した結果が生成されます。照会に NOT EXISTS 節が含まれている場合、正しい結果にならないことがあります。 回避策として、DB2_ANTIJOIN レジストリー・パラメーターを NO に設定し、DB2 サーバーを再始動することができます。次に例を示します。 <DB2-HOME>%BIN>db2set DB2_ANTIJOIN=NO
タスク・リストに戻るとエラーになる	12741	「操作」 > 「タスク」をクリックしてタスクを選択すると、プロジェクトがウィンドウの左側に表示され、タスクの詳細が右側のダイアログで開きます。ダイアログで「タスク・リストに戻る」をクリックすると、エラーになります。
カスタム・マーケティング・オブジェクト・インスタンスを承認に追加するとエラーになる	13604	承認を追加して「承認するアイテムの追加」をクリックする際、別のタイプのオブジェクトを指定することができます。システム上のカスタム・マーケティング・オブジェクトの 1 つを選択すると、新規承認を保存する際にエラーになります。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
「サマリー」タブにカスタム・フォームを持つプロジェクトを複製するとエラーになることがある	13606	<p>ユーザーが以下のすべての特性を持つプロジェクトを複製しようとする時、エラーが発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「サマリー」タブにカスタム・フォームが含まれているプロジェクト・テンプレートからプロジェクトが作成される。 「10 進数」属性タイプを持つ属性がカスタム・フォームに含まれている。 「10 進数」属性にデフォルト値が指定されていない。
サブグループ認証	DEF022909、 INC20721	<p>IBM Marketing Platform で「管理」サブグループを作成しても、そのサブグループのユーザーが自動的に Marketing Operations 管理者として追加されるわけではありません。このサブグループに「管理」アクセス権限を明確に付与する必要があります。</p>
レスポンス履歴にマッピングされたレガシー・メトリックに、削除された値が保持される	DEF046008、 INC55503	<p>レスポンス履歴テーブルを Campaign でクリアしても、レスポンス履歴テーブルにマッピングされた Marketing Operations 内のすべてのメトリックに、削除された値が保持されます。</p>
誤ったデータベースおよびポート情報がインストーラー画面に設定される	DEF060953	<p>バージョン 8.6 へのアップグレード時に、Marketing Platform および Marketing Operations のインストール画面に表示されるデフォルト値が無効です。この問題は、8.6 リリースで追加された変数が原因で生じています。</p> <p>回避策として、次の値を使用することができます。</p> <pre>-DUNICA_REPLAY_DIR="D:¥<MarketingOperations_Home>¥ qa¥ plan85¥ UM085_310ct¥ installers"</pre> <p>または、installer.properties を編集して次の値を追加します。</p> <pre>UNICA_REPLAY_DIR=D:¥¥<MarketingOperations_Home>¥¥qa¥¥ plan85¥¥ UM085_310ct¥¥installers</pre>
アップグレード後のサーバーの問題	DEF063700	<p>バージョン 8.6 へのアップグレード後に、Internet Explorer ブラウザーで特定のユーザー・インターフェース・コントロールのレンダリングが正しくなくなる場合があります。この問題には、次のようなものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「このプロジェクトを複製します」、「フォルダーの名前変更」、「オファー・リストの追加」のアイコンが表示されない フォームの共有属性にアクセスできない オファー・フォルダーを移動できない <p>これらの問題を解決するには、Internet Explorer の個人設定をリセットします。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で、「ツール」>「インターネット オプション」を選択します。 「拡張設定」タブをクリックします。 「リセット」をクリックします。 「個人設定を削除する」を選択してから、「リセット」をクリックします。 Internet Explorer を再始動します。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
外出中委任が開始準備完了タスクに適用されない	DEF061374	Marketing Operations ユーザーは、ユーザー・アクティビティの代行者の指定を含む、外出中設定を定義できるようになりました。あるタスクの従属関係にあるものすべてが「終了」または「スキップ」の状態にあるとき、そのタスクは「開始準備完了」になっています。開始準備完了になった時点で外出中のユーザーに割り当てられているタスクは、自動的に代行者に再割り当てされます。ただし、開始準備完了であるタスクが手動で外出中のユーザーに割り当てられた場合は、代行者に自動的に再割り当てされません。
プロジェクト拡張検索のサポートされないオペランド	DEF061734 / DOC00615	「プロジェクト」リスト・ページで、「1 つ選択 - データベース」属性または「複数を選択 - データベース」属性に関する拡張検索を実行すると、エラーになる場合があります。属性がルックアップ・テーブルに bigInt 型の「ID」または「表示」列を持つと、エラーになります。
「自分のタスク」ポートレットをロード中に例外が発生する	DEF061982 / DOC00616	多数のタスクを割り当てられたユーザーが、「自分のタスク」ポートレットおよび他の複数のポートレットが含まれたダッシュボードを表示すると、エラーが発生する場合があります。
セキュリティー・インポート後に、役割の順序が変わる	DEF062118	セキュリティー・メタデータを一度エクスポートしてから同じシステムにインポートすると、役割の順序は変わります。
同じ外出中代行者を持つ複数のレビュー担当者に承認が送信された場合	DEF062180 / DOC00624	複数のユーザーが同一の個人を外出中の承認代行者として委任すると、予期しない状況が起きる可能性があります。それらのユーザーすべてが外出中であり、それらのユーザーに承認が送信された場合、その承認は最初の外出中ユーザーの場合のみ委任されます。それ以外の外出中ユーザーについては、委任が失敗し、メッセージ「委任されたユーザーは既に承認のレビュー担当者です」が表示されます。
承認に使用するユーザー・インターフェース制御によって、プロンプトの処理も異なる	DEF062770 / DOC00641	「承認を編集/再送信する場合、承認の所有者が、再承認する必要があるレビュー担当者を選択します」ルールを使用する承認がレビュー担当者によって拒否され、ワークフローを経由して再送信されると、システムは予期したとおりにレビュー担当者に対してプロンプトを出します。しかし、ページの右側にあるタスク・ペインによって承認が再送信されると、システムはプロンプトを出さずに直ちに承認をすべてのレビュー担当者に再送信します。
プログラム・メトリック・テンプレートでロールアップ・メトリックの例外エラーが発生する	DEF044430 / DOC00335	メトリック・グループが何も定義されておらず、「ロールアップ」を選択したメトリックがプログラム・メトリック・テンプレートに直接追加されると、エラーが発生します。このエラーを回避するには、次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 該当するプログラム・テンプレート用のメトリック・グループを作成する。 • メトリックに「ロールアップ」を選択することに加えて、ROLLUP 統合機能を含む式をメトリックに対して定義する。

第 6 章 統合された Marketing Operations-Campaign システムの既知の問題

以下の表には、バージョン 9.0.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システムに影響する既知の問題が示されています。

表 6. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 9.0.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
選択するクライアント ID にカテゴリがない場合に、カテゴリの選択時にシステムでエラーまたは警告が表示されない	8437	オファー・インスタンスが作成された後で、オファー・テンプレートの「 Coremetrics URL 」または「 テンプレート用の Coremetrics クライアント ID 」に対して編集が行われる場合、ユーザーがオファー・インスタンスの 1 つに対して作業を行うときに、警告が表示されません。
オファー・インスタンスの作成でクライアント ID およびカテゴリ ID が要求されない	3391	IBM Digital Recommendations システムの有効な「 Coremetrics URL 」およびクライアント ID がオファー・テンプレートに含まれている場合、ユーザーは、クライアント ID またはカテゴリ ID を選択せずにテンプレートからオファー・インスタンスを作成することができます。
IBM Digital Recommendations 属性が拡張検索で表示される	5468	IBM Digital Recommendations 設定の値が含まれていないオファー・テンプレートを拡張検索でユーザーが選択すると、その属性が検索結果に表示されます。
中国語ロケールのユーザーが TCS を公開できない	8053	ロケールとして中国語を設定するユーザーがターゲット・セル・スプレッドシートを公開しようとする時、例外エラーが発生します。
バージョン 8.5 でオファー統合が有効にされたインストール済み環境で、チャンネル属性とチャンネル・タイプ属性を指定してテンプレートを公開すると、それらの属性の値すべてが Campaign で削除される	DEF063702	この問題は、バージョン 8.5 でオファー統合が有効にされた、Marketing Operations-Campaign 統合システムに影響します。8.6 へのアップグレード後は、チャンネル属性とチャンネル・タイプ属性を指定してテンプレートを公開すると、Campaign に存在するそれらの属性のすべての値がデータベース属性テーブルから削除されます。このようなインポートが生じた後に、削除された値を手動で追加して元に戻す必要があります。Campaign で「管理セクション (Admin Section)」の「 属性設定 (Attribute Settings) 」リンクを使用するか、または Marketing Operations のフォーム・エディターを使用して再公開します。

表 6. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 9.0.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
統合された Campaign-Marketing Operations 予算コストでは四半期データしか表示されない	DEF054904、 DEF055000	この問題は、Marketing Operations 8.2.0 リリースで財務計画モジュールに対して行われたデータベース設計の変更が原因で生じます。 「Campaign・オファーの収支比較」を手動で変更するには (レポート・アップグレードの場合)、次のようにします。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Report Studio でレポートを開きます。 2. 「レポート照会 (Report Query)」を編集します。 3. 「オファー別のCampaign・プロジェクト」>「Campaign・プロジェクト」>「予算合計」から取得する「予算合計」照会項目定義を編集します。 4. 集計を「合計/なし (Total/None)」に変更します。 5. 「オファー別Campaign・プロジェクト」>「Campaign・プロジェクト」>「確定した合計」から取得する「確定した合計」照会項目を (「レポート」照会で) 編集します。 6. 集計を「合計/なし (Total/None)」に変更します。
オファー・インポート後に、通貨属性の精度が変わることがある	DEF060846	通貨属性を含むオファー・テンプレートをインポートすると、その属性の精度はサーバーの通貨ロケールに基づいてリセットされます。例えば、精度が 2 以外である属性を通貨ロケールが en_US であるサーバーにインポートすると、その属性の精度は Marketing Operations で 2 に設定されます。
フォルダー・アクセス権が拒否されると、公開済みフォルダーの処理中にエラーが発生する	DEF060881、 DEF060882	Campaign セキュリティ・ポリシーがある役割の「フォルダーの編集」または「フォルダーの移動」アクセス権を拒否すると、その役割を持つユーザーが Marketing Operations の公開済みフォルダーを編集または移動しようとしたときにエラーが発生します。
「書き直し (Redraft)」状態のオファーを移動中に、アプリケーションが宛先フォルダーの公開を確認する	DEF060940	Marketing Operations にオファー・フォルダーが作成されてはいても公開されていない場合、ユーザーが公開済みのオファーをそのフォルダーに移動すると、システムはそのフォルダーを公開するようプロンプトを出します。「書き直し (Redraft)」状態のオファーを非公開フォルダーに移動した場合にも、このプロンプトが表示されます。しかし、「ドラフト」状態のオファーを非公開フォルダーに移動した場合には、このプロンプトは表示されません。 注: 「書き直し (Redraft)」状態のオファーは以前に Campaign に公開されているため、非公開オファー・リストに対して公開済みオファーと同じ作用を及ぼします。
オファー・インスタンスが作成された後でも、フォームの編集が可能である	DEF061105	オファー・テンプレートにフォームを追加し、そのテンプレートを使用してオファーを作成すると、フォームを編集できないというメッセージが表示されます。しかし、この制限はフォームの特定のパラメーターにのみ適用されます。具体的には、属性の追加または削除、オプション、名前、説明、およびデフォルト値の編集は行えなくなります。

表 6. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 9.0.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
スマート・オファー・リストを公開しても、ドラフト・オファーが公開されない	DEF061212 / DOC00592	照会を使用して非公開のスマート・オファー・リストにデータを設定して、その中に含まれているいずれかのオファーの状態が「ドラフト」に変更されると、そのオファー・リストが公開される際に、「ドラフト」状態のオファーも公開されません。 注: 照会を使用するオファー・リストは、含めるオファーを Campaign 内からだけ検索します。この照会は、公開されていないオファーを Marketing Operations 内では検索しません。その結果、オファー・リストを公開してもオファーは公開されません。
フォルダーを別のパーティションに公開しようとすると例外が発生する	DEF061274	ある Marketing Operations ユーザーによってパーティション内に作成されたオファー・フォルダーが、そのパーティションに対する権限を持たない別のユーザーによって Campaign に公開されると、エラーになります。
オファー保存検索を Marketing Operations ホーム・ページに設定する場合の例外	DEF061337 / DOC00595	オファーの保存検索では、ディレクトリー・レベルに移動してから、結果のページをホーム・ページに設定することができます。しかし、ログインするたびに、ホーム・ページには選択した特定のサブディレクトリーではなくルート・ディレクトリーの検索結果が表示されます。
オファー・テンプレートのステータスがテンプレートのインポートに含まれない	DEF061371	オファー・テンプレートを Marketing Operations にインポートするとき、テンプレートのステータスはインポートされません。結果として、Campaign で回収されたテンプレートは、オファーの作成に使用可能になります。
有効期限が発効日より前であるかの編集検査が行われない	DEF061838	標準オファー属性を持つオファー・テンプレートを作成して有効期限と発効日を設定する場合、Marketing Operations は発効日が発効期限よりも前であることを確認しません。
Marketing Operations はオファーの関連製品情報を表示しない	DEF062333	オファー・データとメタデータを Marketing Operations にインポートすると、オファーは Campaign で関連付けられている「関連製品」を表示しません。
基になるテンプレートおよびフォームが変更されても公開されていない場合、オファーを公開することができない	DEF062814 / DOC00642	既に使用中のオファー属性のデフォルト値を変更する場合は、属性が使用されているフォームとそのフォームが含まれるオファー・テンプレートの両方を公開する必要があります。そうしないと、ユーザーがテンプレートからオファーを作成して、そのオファーを公開しようとした時に、エラーが発生します。
オファー・フォルダーの再インポートの問題	DEF062944	ネットワークや他の問題のために Campaign から Marketing Operations へのオファー・データおよびメタデータのインポートが中断した場合、インポート処理を再開することができます。しかし、オファー・フォルダーのインポート中に障害が発生した場合は、エラー・メッセージ「FOLDER_WITH_SAME_NAME_ALREADY_PRESENT」が表示されます。
削除したフォルダーが引き続き表示されることがある	DEF063069	階層オファー・フォルダーのセットのルート・フォルダーが削除されると、そのフォルダーとその内容はデータベースから削除されます。しかし、ブラウザーのキャッシングのためにそのフォルダーがユーザー・インターフェースに引き続き表示されることがあり、ユーザーがそのフォルダーをクリックして選択するとエラーが発生します。

第 7 章 既知の制限

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の制限が示されています。

表 7. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の制限

問題	問題 ID	説明
ダッシュボード・ポートレットの複数のスクロール・バー	3066	ブラウザ・ウィンドウのサイズを縮小すると、2 つのスクロール・バーを持つダッシュボード・ポートレットが表示されることがあります。Marketing Operations と Marketing Platform の両方が、スクロール・バー・コントロールを追加します。
プロジェクトおよびサブプロジェクトを手動でクリアする必要がある	5817	プロジェクト正常性 (月次) レポートを要求する際、「プロジェクト」および「サブプロジェクト」を選択して組み込むことができます。これらのリストのいずれかから値を選択した後、他の選択を行う場合、その選択を行う前に、すべてのプロジェクトまたはサブプロジェクトをクリアする必要があります。
データベース・テーブル名で大文字が使用されているカスタム・フォームのグループがアップグレードされない	DEF058551	この制限は、7.5.x から 8.5 にアップグレードし、その後 9.0 にアップグレードする (2 ステップ・プロセス) インストール済み環境に当てはまります。カスタム・グループに属性が含まれ、フォーム・テーブル名に大文字が含まれるカスタム・フォームが正しくアップグレードされません。カスタム・グループは削除され、属性はデフォルト・グループに移動されません。
ユーザーは英語以外の言語のマーケティング・オブジェクトを追加することができない	DEF057079	Marketing Operations では、マーケティング・オブジェクト・タイプ名にマルチバイト文字は許可されていません。
フォーム名、フォーム属性名、またはテーブル名のフィールドに英語以外の文字が使用されたフォームまたはテンプレートを追加することができない	DEF057100	英語以外の文字を使用したフォームおよびテンプレートのフィールドは保存できません。
プロジェクトがキャンセルされても、プロジェクトの入力が完了していても、ユーザーはタスク・ペインを使用して「要約」タブを編集できる	DEF057121	ページの右側でタスク・ペインがオープンしている状態で、「サマリー」タブでプロジェクトをキャンセルしたり、プロジェクトの入力を完了したりした場合は、プロジェクトがアクティブではなくても、引き続きタスク・ペインでプロジェクト・フォームを編集することができます。

表 7. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
SSOR/MSOR 属性を追加するとき、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンでオファーを選択できない	DEF059340	Marketing Operations バージョン 8.5 には、Campaign のオファー管理との統合に使用可能なデフォルトのマーケティング・オブジェクト「Offers」(uap_sys_default_offer_comp_type) があります。マーケティング・オブジェクト・タイプ「Offers」を参照する単一選択オブジェクト参照属性が自動作成オプションによって作成されたものである場合、自動作成されるオファーにはいくつかの重要なフィールド (キャンペーン・オファー・コードなど) が生成されないため、問題となります。このようなことに起因する問題を回避するために、SSOR 属性と MSOR 属性には「Offers」の参照が許可されていません。SSOR 属性または MSOR 属性を追加する場合に、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンで「Offers」は選択できません。
レガシー・メトリック・テンプレートが新規テンプレートにマッピングされると、1 次キー違反になる	DEF057563	Marketing Operations バージョン 8.5.0 で、外部メトリック・エディターがアプリケーション内に移動しました。バージョン 8.5.0 で作成されたメトリック・テンプレートには、タイプ (計画、プログラム、またはプロジェクトに対応する) を指定する必要があります。 Marketing Operations には、バージョン 8.5.0 より前に作成された計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートに使用できるようにレガシー・メトリック・テンプレートが保持されていますが、新しいオブジェクト・テンプレートにはこのタイプ情報がないため、これらのレガシー・メトリック・テンプレートを新しいオブジェクト・テンプレートに使用することはできません。新規の計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートを作成する場合は、同じタイプを持つメトリック・テンプレートを選択する必要があります。新しいオブジェクト・テンプレート内でレガシー・メトリック・テンプレートを使用する必要がある場合は、新しい内部メトリック構成機能を使用してレガシー・メトリック・テンプレートを再作成しなければなりません。
グリッド上のデフォルト日付が必ずしも正しくローカライズされない	DEF057605、 DEF040170	グリッドの日付選択制御は非英語ロケール用にローカライズされないため、一部の非英語言語ロケール (日本語など) の場合、グリッド日付属性のデフォルト値は必ずしもデータ設定されません。
未応答のレビュー担当者は、右側のタスク・ペインからの「保留中」承認を続行できない	DEF057650	レビュー担当者が「保留中」状態の承認に回答していない場合は、右側のタスク・ペインを使用してその承認を続行することができません。タスク・ペインには承認のために「承認」、「変更して承認」、および「拒否」ボタンが表示されますが、「続行」および「キャンセル」ボタンは表示されません。一方、既に承認に回答した承認者は右側のペインから続行できます。 右側のペインのボタンはユーザーの役割 (承認者または承認の所有者) に基づいて決定されるため、このシナリオのようになります。承認者と所有者が同一ユーザーである場合は、承認者のアクションが優先されます。
計算メトリックの式は英語でなければならない	DEF057660	メトリック・テンプレートにメトリックを追加する場合、ユーザーはメトリックを「計画」または「ロールアップ」として指定できます。「式によって計算済み」フィールドに式を入力する場合、その式は英語でなければなりません。ROLLUP の代わりに翻訳された文字列を入力すると、エラーが発生します。

表 7. Marketing Operations バージョン 9.0.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
メトリック式が検証されない	DEF057726	メトリックに無効な式が指定されると、メトリックを使用するオブジェクト・インスタンスの「トラッキング」タブに入力した値が Marketing Operations によってファイナライズされるときに、例外エラーとなります。有効な演算子とオペランドについては、製品資料を参照してください。
オファー・テンプレートのインポートに関する制限	DEF059793	次の場合、オファー・テンプレートはインポートされません。 <ul style="list-style-type: none"> • 同じ ID のオファー・テンプレートが存在する。 • 同じ ID のオファー・テンプレートが以前に公開されて削除されている。 • 同じ名前のフォームがオファー・テンプレートに使用されている。
コメントが定義された上限を超えると例外になる	DEF062980	データベースによって課された上限を超えるテキスト・ストリングをフィールドに入力すると、データベース例外が発生します。例えば、DB2 データベースを使用するシステムで、1,048,576 より長いプロジェクト記述を保存しようとする、エラーになります。これはデータベース・サーバーによって課される制限です。
Safari ブラウザーがデータ・マイグレーション・ファイルを直接ダウンロード・フォルダーにダウンロードする	DEF063699	Safari ブラウザーで Marketing Operations を使用中にデータ・マイグレーションのインポートを実行すると、宛先フォルダーを指定するプロンプトは出されません。インポートされるファイルは、Safari でダウンロード用に指定されたフォルダーに直接ダウンロードされます。

第 8 章 IBM Marketing Operations Reports Package

IBM Marketing Operations Reports Package について

IBM Marketing Operations Reports Package は、IBM Cognos モデル、IBM Cognos レポート一式、および IBM Cognos レポート・ポートレット一式を提供します。

提供されているレポートの仕様文書は、Reports Package とともに ReportsPackMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

Marketing Operations Reports Package がインストールされた後に、以下のオブジェクト間レポートにアクセスするには、「分析」>「操作の分析」をクリックしてください。

- マーケティング活動レポート
- 期限超過マイルストーン・レポート
- プログラム・タスクおよびマイルストーン
- プロジェクト正常性 (月次)
- プロジェクト正常性 (トレンド)
- プロジェクトのオンタイム分析
- プロジェクト・パフォーマンス・クロス集計 (カスタム)
- プロジェクト・パフォーマンス・サマリー
- プロジェクト・パフォーマンス・サマリー (カスタム)
- プロジェクト・タスク
- リソース・タスク・ロード
- リソース使用状況サマリー
- システム・プログラム
- システム・プロジェクト
- システム・ユーザー
- タスクのオンタイム分析
- ベンダー支出サマリー
- ワークフロー承認の拒否理由分析レポート
- 独立した承認の拒否理由分析レポート

単一オブジェクト・レポートにアクセスするには、オブジェクト名をクリックしてから、「分析」タブの「レポート・タイプ」リストを使用します。「分析」タブで選択可能な単一オブジェクト・レポートは、以下のとおりです。

計画用:

- 四半期別の予算サマリー

プログラム用:

- 請求書サマリー・リスト
- 四半期別の予算サマリー

プロジェクト用:

- すべての改訂
- 承認応答
- 請求書サマリー・リスト
- マーケティング・オブジェクト相互参照
- 承認およびコンプライアンスのリスト
- 四半期別の予算サマリー
- 詳細な経費の内訳

チーム用:

- 改訂履歴
- チームに割り当てられた業務
- チーム・メンバーに割り当てられた業務

管理者は、「設定」>「ダッシュボード・ポートレット」をクリックすることにより、レポート・ポートレットを確認して有効にすることができます。「ダッシュボード」タブで、ユーザーはダッシュボードを作成し、それにレポート・ポートレットを追加できます。

- 自分の承認サマリー
- マイ・タスク・サマリー
- プロジェクト・タイプ別の予算
- 四半期別の完了プロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の予測
- マーケティング財務状態
- 要請されたプロジェクトと完了したプロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の支出
- マネージャー承認サマリー
- プロジェクト・タイプ別のプロジェクト
- ステータス別のプロジェクト
- マネージャー・タスク・サマリー
- 自分のタスク
- 承認待ち操作
- 自分のアクティブ・プロジェクト
- 自分の要求
- 自分のアラート
- 予算超過プロジェクト
- マイ・タスクの管理
- マイ・プロジェクトの正常性

新機能および変更点

プロジェクト正常性の月次レポートおよびトレンド・レポート、ワークフローおよび独立した承認の拒否理由分析レポート、および「マイ・プロジェクトの正常性」レポート・ポートレットがこのリリースで新たに追加されました。

既知の問題

本リリースに既知の問題はありません。

第 9 章 IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package

IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package について

IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package は、Marketing Operations と Campaign の両方からの情報を結合するレポート一式を提供します。このパッケージのレポートは、Campaign システム・テーブルからデータを取得します。これらのレポートを使用するには、Marketing Operations-Campaign 統合を有効にし、IBM Campaign Reports Package と IBM Marketing Operations Reports Package の両方をインストールする必要があります。

提供されているレポートの仕様文書は、この Reports Package とともに ReportsPackCampaignMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

この Reports Package には、以下の IBM Cognos レポートが含まれています。

- キャンペーン・セルの収支比較
- キャンペーン・オファーの収支比較
- チャネル別のキャンペーン・オファーの収支比較

これらのレポートは、「分析」>「操作の分析」をクリックすることによってオブジェクト間レポートとして実行することも、プロジェクト名をクリックしてから「分析」タブにある「レポート・タイプ」リストを使用することによって単一オブジェクトのプロジェクト・レポートとして実行することもできます。

新機能および変更点

このリリースの IBM Cognos レポートに新機能および変更点はありません。

既知の問題

表 8. IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package の既知の問題

問題	問題 ID	説明
キャンペーンに属性が指定されていないオファーが割り当てられている場合、「キャンペーン・オファーの収支比較」レポートが空白で表示される	DEF046423	キャンペーン・プロジェクトの連携キャンペーンに、オファー属性を持たないオファーに割り当てられたセルで構成されたフローチャートが含まれている場合、レポートは空白で表示されます。このレポートを正しく表示するには、セルに割り当てられたオファーに以下の属性が含まれていなければなりません。 <ul style="list-style-type: none">• オファーの固定費• オファー調達費• レスポンス収益

第 10 章 IBM 技術サポートへの連絡

文書を参照しても解決できない問題があるなら、指定されているサポート窓口を通じて IBM 技術サポートに電話することができます。このセクションの情報を使用するなら、首尾よく効率的に問題を解決することができます。

サポート窓口が指定されていない場合は、IBM 管理者にお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細な記録。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手した製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートに電話すると、実際の環境に関する情報について尋ねられることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、インストールされている IBM のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページは、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することにより表示できます。「バージョン情報」ページを表示できない場合、どの IBM アプリケーションについても、そのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを表示することにより、各アプリケーションのバージョン番号を入手できます。

IBM 技術サポートのコンタクト情報

IBM 技術サポートとの連絡を取る方法については、IBM 製品技術サポートの Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、

および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用について詳しくは、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21